

INVテクニカルニュース

シート	分類	タイトル	機種
MF-O-047	操作	Mダイヤルで周波数設定ボリュームのように運転する方法について	FR-S500

FREQROL-S500形インバータでパネル表面のMダイヤルを使用して、外部周波数設定ボリュームのように運転する方法について説明します。この方法だと運転中、停止中に関わらずMダイヤルを回すだけで“SET”キーを押さなくても、周波数を設定できます。

1. パラメータ設定

Pr.53の設定値を「1」（Mダイヤルボリュームモード）にします。

パラメータ	名称	工場出荷時設定値	備考
53	周波数設定 操作選択	0	0：Mダイヤル周波数設定モード 1：Mダイヤルボリュームモード

（注）Pr.30（拡張機能表示選択）を「1」にしないと、Pr.53の設定を行えません。

2. 運転周波数設定方法

“MODE”キーでモニタ表示を、周波数モニタにしてください。
Mダイヤルを左右に回してモニタの数値を、設定したい周波数に合わせてください。
（モニタの点滅している周波数が設定周波数となります。）

（補足）

- ・SETキーを押す必要はありません。
- ・Mダイヤルを押すと設定周波数を確認できます。
- ・電源のOFF、ON後も設定周波数は記憶されていますので、再度設定する必要はありません。

3. 運転方法

- ・始動信号を外部端子（STF・STR）で与えたい時
Pr.79（運転モード）を「3」に設定します。
外部端子STF（STR）をONすると、Mダイヤルで設定した周波数で運転します。
この状態でMダイヤルを回すと、運転中でも運転周波数を変更できます。
- ・始動信号をパネルの“RUN”キーで与えたい時
Pr.79（運転モード）を「1」に設定します。
パネルの“RUN”キーを押すと、Mダイヤルで設定した周波数で運転します。
この状態でMダイヤルを回すと、運転中でも運転周波数を変更できます。

発行日		三菱電機 名古屋製作所
2000-9-26	O-S5-02A	